

令和3年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

当初予算説明資料

— 目 次 —

1 予算編成方針	.....	1
2 予算の施策方針と主な事業の概要	.....	2
3 事業計画	.....	6
4 収益的収入及び支出	.....	6
5 資本的収入及び支出	.....	6
6 債務負担行為	.....	6
7 企業債	.....	6
8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表	.....	7
9 第2次水道施設整備計画位置図	.....	9

## 1 予算編成方針

我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありながらも感染拡大の防止策を講じ、継続的な景気の持ち直しの動きを期待する一方、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意しなければならないという極めて不安定な状況と言えます。

こうしたなか、政府は「経済あつての財政」との考え方の下、経済財政運営に万全を期するとともに、「経済財政運営と改革の基本方針2020」に基づき、経済・財政一体改革を推進することとし、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りつつ、ポストコロナの新しい社会の実現を目指し、中長期的な成長力強化の取組を推進していくよう、令和3年度予算編成の基本方針を示しました。

本企業団に目を向けてみますと、令和2年度は、緊急事態宣言の発出による外出自粛、新しい生活様式の推進により一般家庭の使用水量が増加する一方で、経済活動の鈍化により大口使用者の使用水量が減少するなど、感染症拡大の影響を多大に受け、前例のない年となっています。現段階において、有収水量は前年度を上回り、給水収益は持ち直しの動きが見られますが、コロナ禍における国の動向や社会経済情勢の変化を注視し、適切に事業運営を行うことが要求されます。

このような状況下において、令和3年度は、基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現を目指して策定した「第3次アクア・シンフォニー計画」がスタートする年となります。コロナ禍の先行きが不透明な状況においても、地域の皆さまに安全・安心な水道水を安定的に供給する使命を果たすため、水道施設の老朽化、健全な財政運営の安定化、次代を担う人材の育成などの諸課題に対して継続的に対応していく必要があります。そのためには、重点目標として掲げている管路の更新率1.25%を始めとした「安全」「強靱」「持続」の各目標の達成に向けて、事業を着実に推進し、将来にわたって持続可能な水道事業を展開していくための経営基盤を確固たるものにしていかなければなりません。

令和3年度予算編成にあたっては、こうした状況に十分留意し、厳しい財政状況においても、限られた財源で創意工夫をもって無駄なく適切に投資することにより、最大の効果を得られるよう編成しました。

## 2 予算の施策方針と主な事業の概要

★★水道事業ビジョン★★  
第3次アクア・シンフォニー計画  
(令和3年度～令和12年度)

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

### 計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

#### I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、水質検査の正確性や分析技術の向上を図ります。
  - ・ 適正な水質管理 … 1,698万円  
(一部農業項目等の水質検査業務委託、福谷水源滅菌設備更新工事他)
  - ・ 水質検査精度管理 … 2,585万円  
(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)
2. 小規模貯水槽の水の安全性確保のため、管理者に対し衛生管理の必要性のPRを継続します。
  - ・ 小規模貯水槽水道の衛生管理PR … 2万円  
(小規模貯水槽(10m<sup>3</sup>以下)の衛生管理に関するPRチラシの発送)
3. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続します。
  - ・ 施設警備委託 … 362万円  
(水道施設警備業務委託、防犯灯設置工事他)

# 計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

## I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新します。

・老朽管路の更新 … 18億9,317万円

〔豊明市栄町大根地内配水管布設替工事その1始め42件 L=18,427m、  
老朽管路更新に伴う設計委託1件〕

2. 災害時に備えるため、基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行います。

・基幹管路の耐震化 … 1億6,033万円

(横道グリーン線配水管布設替工事その15始め3件 L=624m、基幹管路耐震化に伴う設計委託1件)

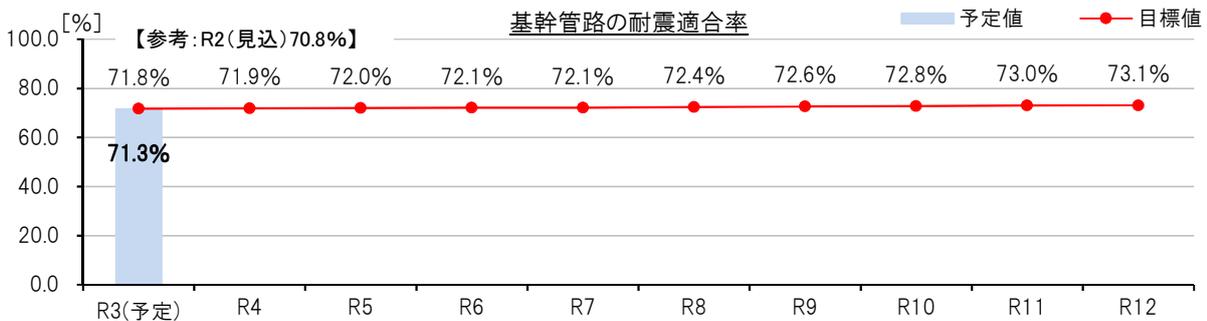
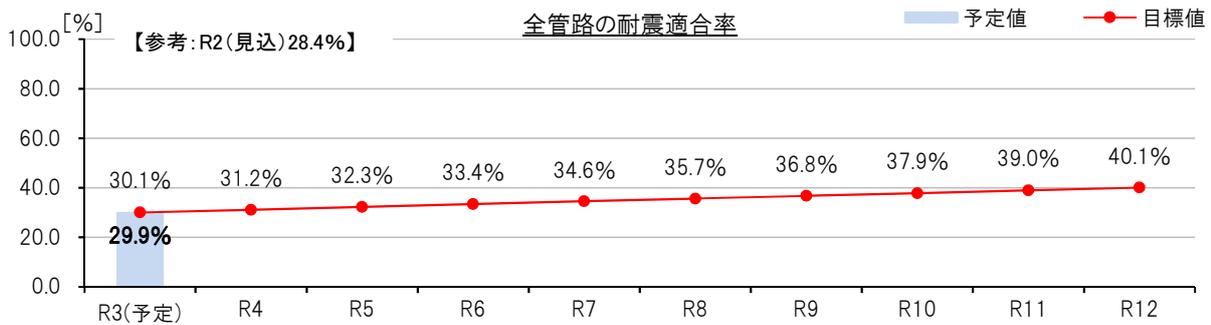
・重要給水施設管路の耐震化 … 6億4,456万円

(東郷町和合ヶ丘他地内配水管布設替工事始め5件 L=3,976m)

### 第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路の更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。



※管路耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K型継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。

※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

## II 水道施設のレベルアップ

### (主な事業)

1. 水道水を継続的に供給していくため、水道施設を適切に維持管理し、老朽化した施設を計画的に更新します。

- ・ 配水池のリフレッシュ …… 1億6,720万円（二村山配水場内外面補修工事他）
- ・ 遠方監視システムの適正管理 …… 2億6,899万円  
（遠方監視設備更新工事、計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他）

2. 水道事故を未然に防止するため、管路を適切に維持管理します。

- ・ 漏水調査 …… 4,741万円（漏水調査業務委託他）
- ・ 仕切弁等点検 …… 605万円（管路施設点検業務委託）
- ・ 管洗浄等の実施 …… 1,631万円（既設管内調査業務委託、配水管内クリーニング工事他）

3. 区画整理事業や公共工事と同調し、効率的に配水管を整備します。

- ・ 区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 2億8,426万円  
〔日進香久山西部土地区画整理内配水管布設工事その1始め7件 L=4,608m、  
区画整理事業に伴う設計委託1件〕
- ・ 公共工事と同調した配水管整備 …… 1億7,061万円  
（みよし市福田町宮下地内配水管布設替工事始め11件 L=1,220m）

## III 危機管理対策の推進

### (主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備します。

- ・ 災害用資機材の確保 …… 419万円  
（非常用飲料水袋の購入、IP無線機賃借料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料他）

## 計画3 「持続」いつも信頼できる水道システム

### I 水道水の安定供給

#### (主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行います。また、老朽化や水質状況を考慮した自己水源の合理化を検討します。

- ・ 県営水道からの受水 …… 24億1,101万円  
（承認基本給水量 102,500m<sup>3</sup>/日、年間予定受水量 35,034,000m<sup>3</sup>）
- ・ 自己水源の合理化 …… 2,167万円  
（和合ヶ丘水源の井戸清掃工事、濾材活性化工事、取水ポンプ・送水ポンプ取替他）

## II お客様との連携の促進

### (主な事業)

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、サービスのさらなる向上を図ります。
  - ・ 給水事務の迅速化 …… 265万円（給水システム保守業務委託）
  - ・ 配水補助管助成金制度の継続 …… 3,386万円（配水補助管助成金）
2. 将来を担う子どもたちを対象として、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行います。
  - ・ 水道学習の実施 …… 40万円（小学生を対象とした出前授業の実施）
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する情報を分かりやすく提供します。
  - ・ 広報広聴活動の充実 …… 661万円  
(広報誌「ふれっしゅ水道」(年間4回発行、予定部数557,200部)作成委託他)

## III 持続可能な水環境づくり

### (主な事業)

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続します。
  - ・ 太陽光発電設備、電気自動車の活用 …… 383万円（太陽光発電設備の年次点検業務委託他）
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに、ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備を継続します。
  - ・ 「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 2,936万円
  - ・ 水源地域との交流事業 …… 581万円

〔ボランティア組織「水源の森応援隊」による植樹などの森林整備活動の実施、森林ボランティアリーダー実技講習会の開催、ボトル缶「木曾川源流水」の製作他〕

## IV 健全かつ安定した事業運営

### (主な事業)

1. 自己財源の負担軽減を図るため、各種補助金制度を活用して財源の確保に努めます。
  - ・ 補助金制度の活用 …… 5,137万円（愛知県生活基盤施設耐震化等補助金）
2. 事業実施に必要な財源を確保し健全経営を継続するため、企業債の適正な借入に努めます。
  - ・ 企業債の適正借入 …… 3億円（利率が4.0%以内の公的資金を借入れ）

## V 人材育成・組織力の強化

### (主な事業)

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、研修内容を改善し充実させます。
  - ・ 職員教育の充実 …… 305万円（内部・外部研修の実施）

### 3 事業計画

#### (1) 業務の予定量

区 分	単位	令和3年度 予定 A	令和2年度		増減 C (A-B)	増減率(%) (C/B)
			当初予定 B	見 込		
給 水 戸 数	戸	136,200	134,900	135,500	1,300	1.0%
給 水 人 口	人	328,200	327,800	326,500	400	0.1%
総 給 水 量	千m <sup>3</sup>	35,588	35,075	35,541	513	1.5%
(うち県営水道受水量)	千m <sup>3</sup>	35,034	34,514	34,990	520	1.5%
有 収 水 量	千m <sup>3</sup>	33,596	33,076	33,516	520	1.6%
有 収 率	%	94.4	94.3	94.3	0.1	0.1%
1 日 平 均 給 水 量	m <sup>3</sup>	97,501	95,833	97,107	1,668	1.7%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	ℓ	297.1	292.4	297.4	4.7	1.6%
1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	ℓ	280.5	275.7	280.5	4.8	1.7%
職 員 数	人	98	96	96	2	2.1%

#### (2) 建設改良事業の概要

科 目	予算額	主な事業
配 水 設 備 改 良 費	4,020,728千円	第2次水道施設整備事業 土地区画整理等受託事業
固 定 資 産 購 入 費	40,958千円	固相抽出装置(水質検査機器)更新 公用車購入

### 4 収益的収入及び支出

水道事業収益7,685,983千円に対して、水道事業費用は6,531,450千円で差引き1,154,533千円が税込み当年度純利益となります。なお、消費税及び地方消費税を整理すると886,877千円の税抜き当年度純利益となります。

### 5 資本的収入及び支出

資本的収入1,092,280千円に対して、資本的支出は4,353,657千円となり、差引き不足額3,261,377千円は、減債積立金10,000千円、建設改良積立金185,000千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額263,675千円、過年度分損益勘定留保資金1,631,316千円、当年度分損益勘定留保資金1,171,386千円で補てんする予定です。

### 6 債務負担行為

事 項		期 間	限度額
老朽管路 更新工事	豊明市二村台7丁目地内、新田町錦地内	令和4年度	718,415千円
	日進市東山五丁目地内、赤池四丁目地内		
	みよし市筋生町明知原他地内、三好町東荒田他地内		
	長久手市山野田他地内、平池他地内		
	東郷町春木台2丁目地内、東郷町御岳1丁目地内		
漏水調査業務委託		令和4年度 から 令和5年度 まで	126,500千円

### 7 企業債

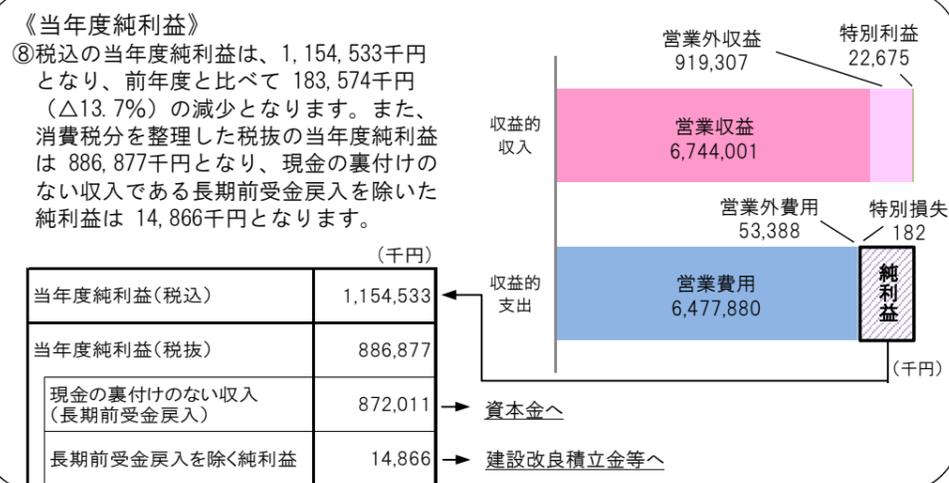
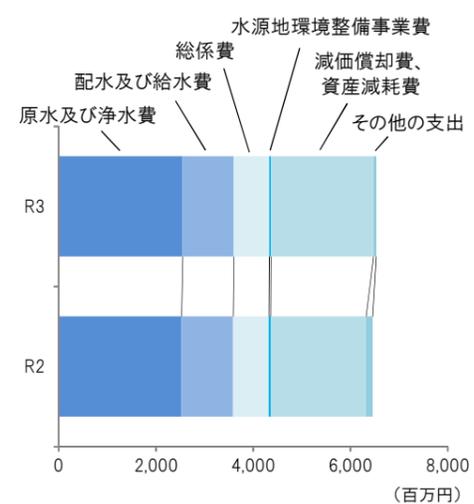
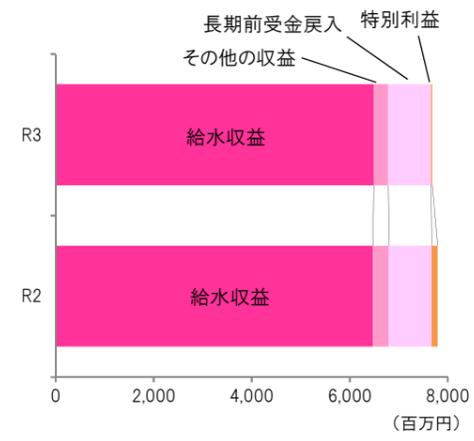
配水設備改良事業の財源として、限度額を300,000千円と定め、利率が4.0%以内の公的資金を借り入れる予定です。

8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表

(1) 収益的収支 ※収益的収支（損益勘定）とは、1年間で水道水を供給して得る収入と供給に要する費用（支出）の内訳を表すものです。〔予算書P5～P6〕

(単位:千円)

収入科目	令和3年度 予定額	令和2年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
営業収益	6,744,001	6,757,891	△ 13,890	△ 0.2%		<p>《収益的収入》</p> <p>①営業収益のうち給水収益は、1人1日当たりの使用水量の増加により、前年度と比べて16,818千円(0.3%)の増加となり、その他営業収益は、特別管理分担金の予定がないため、31,888千円(△12.2%)の減少となります。</p> <p>②営業外収益のうち長期前受金戻入は、長期前受金を財源として取得した構築物の減価償却の増加により、前年度と比べて3,271千円(0.4%)の増加となります。</p> <p>③特別利益のうち固定資産売却益は、遊休地の売却予定がないため、前年度と比べて109,384千円(皆減)の減少となります。</p>
給水収益	6,493,098	6,476,280	16,818	0.3%	水道料金及び水道水源環境保全基金収入	
受託工事収益	803	803	0	0.0%		
その他営業収益	229,410	261,298	△ 31,888	△ 12.2%	給水工事に伴う設計事務費、下水道徴収事務負担金他	
他会計負担金	20,690	19,510	1,180	6.0%	消火栓等維持管理負担金他	
営業外収益	919,307	915,115	4,192	0.5%		
受取利息	3,245	3,188	57	1.8%	預金利息、有価証券利息他	
長期前受金戻入	872,011	868,740	3,271	0.4%	減価償却費等に対応する長期前受金の収益化	
雑収益	44,051	43,187	864	2.0%	行政財産目的外使用料他	
特別利益	22,675	124,040	△ 101,365	△ 81.7%		
固定資産売却益	0	109,384	△ 109,384	皆減	令和2年度は旧東山第2配水場用地処分に伴う売却益	
その他特別利益	22,675	14,656	8,019	54.7%	退職給付引当金戻入益	
水道事業収益計(A)	7,685,983	7,797,046	△ 111,063	△ 1.4%		<p>《収益的支出》</p> <p>④原水及び浄水費は、県営水道受水量の増加に伴う受水費の増加等により、前年度と比べて24,233千円(1.0%)の増加となります。</p> <p>⑤配水及び給水費は、漏水調査業務委託における対象地区の精査や債務負担行為の活用に伴う委託料の減少等により、前年度と比べて11,814千円(△1.1%)の減少となります。</p> <p>⑥減価償却費は、新規稼働資産の増加により、前年度と比べて58,933千円(3.2%)の増加となります。</p> <p>⑦資産減耗費は、遠方監視設備の更新等に伴う用途廃止資産の除却の増加により、前年度と比べて87,461千円(83.4%)の増加となります。</p>
支出科目	令和3年度 予定額	令和2年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	
営業費用	6,477,880	6,324,414	153,466	2.4%		
原水及び浄水費	2,549,919	2,525,686	24,233	1.0%	県営水道受水費他	
配水及び給水費	1,051,991	1,063,805	△ 11,814	△ 1.1%	配水施設等維持修繕費他	
受託工事費	803	803	0	0.0%		
総係費	730,727	733,228	△ 2,501	△ 0.3%	検針・収納等営業業務委託料他	
議会及び監査費	2,730	2,898	△ 168	△ 5.8%		
水源地環境整備事業費	35,167	37,845	△ 2,678	△ 7.1%	水源地環境整備事業助成金他	
減価償却費	1,914,204	1,855,271	58,933	3.2%	有形固定資産構築物他	
資産減耗費	192,339	104,878	87,461	83.4%	用途廃止資産の除却費及び施設撤去費他	
営業外費用	53,388	134,349	△ 80,961	△ 60.3%		
支払利息及び企業債取扱諸費	37,280	47,725	△ 10,445	△ 21.9%		
雑支出	5,100	5,100	0	0.0%	過年度分水道料金減免他	
消費税及び地方消費税	11,008	81,524	△ 70,516	△ 86.5%		
特別損失	182	176	6	3.4%		
その他特別損失	182	176	6	3.4%	貸倒引当金繰入額	
水道事業費用計(B)	6,531,450	6,458,939	72,511	1.1%		
当年度純利益(A-B)	1,154,533	1,338,107	△ 183,574	△ 13.7%		



(2) 資本的収支

※資本的収支（資本勘定）とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費（支出）と、その財源（収入）の内訳を表すものです。〔予算書P7～P8〕

(単位:千円)

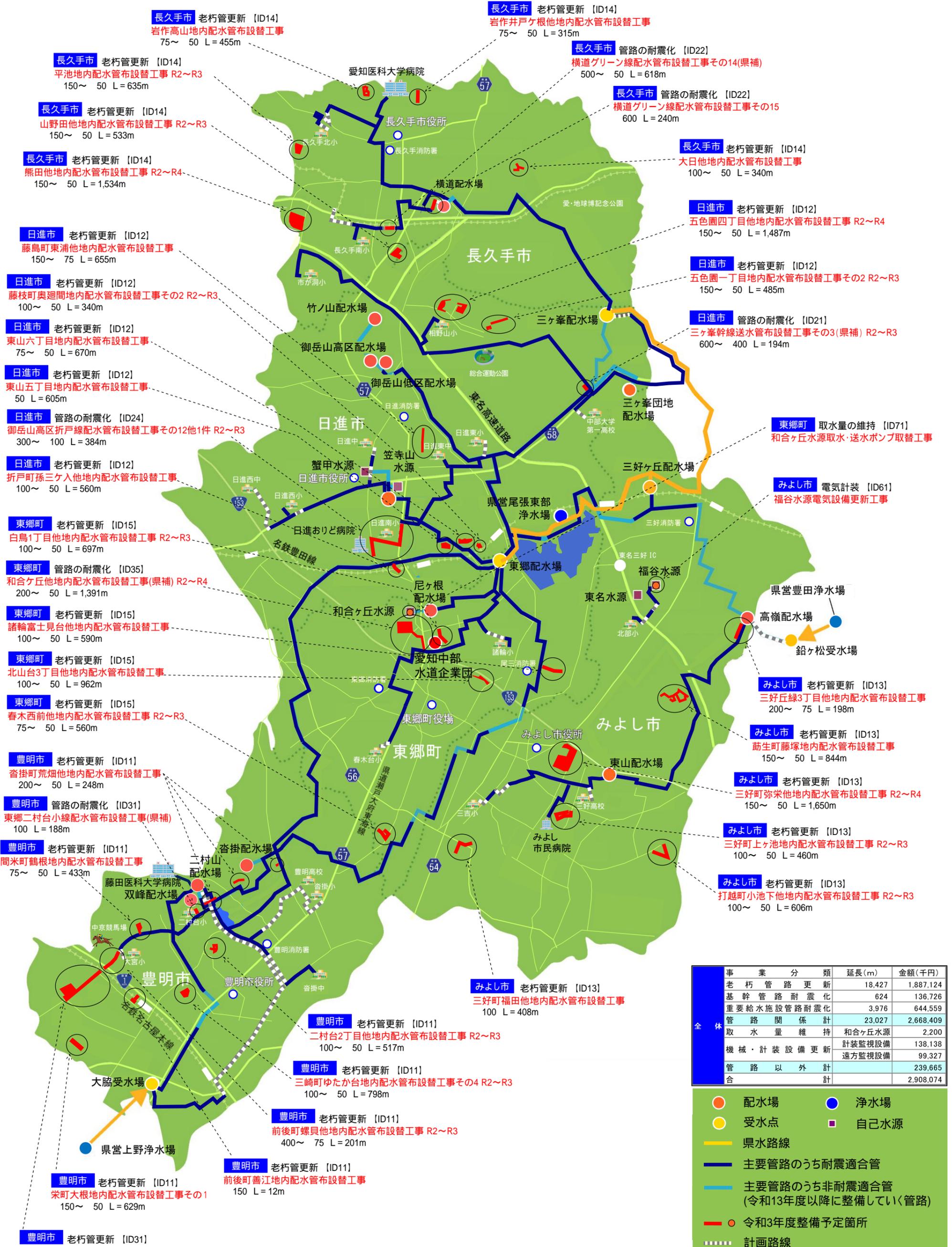
収入科目	令和3年度 予定額	令和2年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
企業債	300,000	0	300,000	皆増	配水設備改良事業の財源として借入れ	<p>《資本的収入》 ⑨配水設備改良事業の財源として、限度額を300,000千円と定め、企業債の借入れを行います。</p> <p>《資本的支出》 ⑩水道施設整備事業として、豊明市栄町大根地内を始めとした老朽管路の更新事業を1,893,174千円(18,427m)、管路の耐震適合率の向上のため、横道グリーン線を始めとした管路の耐震化事業を804,891千円(4,600m)行います。その他に、電気計装設備の更新等を239,665千円行います。</p> <p>◎管路耐震適合率(対前年度見込増減) 全管路…29.9%(1.5*ｲﾝﾄ増) 基幹管路…71.3%(0.5*ｲﾝﾄ増)</p> <p>【配水設備改良費 構成比】 (千円) 老朽管路の更新 1,893,174 (47.1%) 整備事業 2,937,730 (73.1%) 管路の耐震化 804,891 (20.0%) 整備事業以外 1,082,998 (26.9%) その他の整備事業 239,665 (6.0%)</p> <p>【水道施設整備事業費 対前年度比較】 (千円) R3 (2,937,730) 老朽管路の更新 1,893,174 管路の耐震化 804,891 その他の整備事業 239,665 R2 (2,118,228) 老朽管路の更新 958,462 管路の耐震化 796,042 その他の整備事業 363,724</p> <p>《資本的収支 財源不足額》 ⑪資本的収入額1,092,280千円に対して、資本的支出額は4,353,657千円となり、3,261,377千円の財源不足額が発生します。 ⑫財源不足額については、過年度及び当年度損益勘定留保資金と前年度以前の純利益を利益処分し、積み立てられた建設改良積立金等で補てんします。</p> <p>【資本的収入】 工事負担金 740,611 企業債 300,000 県補助金 51,370 固定資産売却代金 299 資本的収入 3,261,377</p> <p>【資本的支出】 建設改良費 4,061,686 企業債償還金 289,711 補助金返還金 2,260 資本的支出 4,353,657</p>
県補助金	51,370	24,860	26,510	106.6%	重要給水施設管路耐震化事業に対する県補助金	
工事負担金	740,611	708,954	31,657	4.5%	区画整理等事業に伴う負担金他	
固定資産売却代金	299	43,891	△43,592	△99.3%	公用車処分に伴う帳簿原価	
資本的収入計(C)	1,092,280	777,705	314,575	40.4%		
支出科目	令和3年度 予定額	令和2年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	
建設改良費	4,061,686	3,369,736	691,950	20.5%		
配水設備改良費	4,020,728	3,312,943	707,785	21.4%	水道施設整備事業、庁舎改修工事他	
固定資産購入費	40,958	56,793	△15,835	△27.9%	水質検査機器更新他	
企業債償還金	289,711	303,382	△13,671	△4.5%		
補助金返還金	2,260	22,220	△19,960	△89.8%	令和2年度県補助金に含まれる消費税相当額の返還分	
資本的支出計(D)	4,353,657	3,695,338	658,319	17.8%		
差引額(C-D)	△3,261,377	△2,917,633	343,744	11.8%	△の場合は収入が不足	

補てん財源計		3,261,377
過年度損益勘定留保資金	1,631,316	
当年度損益勘定留保資金	1,171,386	
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	263,675	
減債積立金	10,000	
建設改良積立金	185,000	

※令和3年度資金繰越額 (単位:千円)

収益的収支	収益的収入(A)	7,685,983
	収益的支出(B)	6,531,450
	うち現金を伴わない支出(減価償却費、資産減耗費等)	2,103,275
	純利益(A-B)	1,154,533
	うち長期前受金戻入を除いた利益	14,866
資本的収支	資本的収入(C)	1,092,280
	資本的支出(D)	4,353,657
	収支不足額(C-D)	△3,261,377
前年度資金繰越額①	2,226,075	
当年度資金発生額②	2,381,816	
当年度純利益	14,866	
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	263,675	
当年度損益勘定留保資金	2,103,275	
財源充当額③	3,261,377	
翌年度資金繰越額(①+②-③)	1,346,514	

# 9 令和3年度当初予算 第2次水道施設整備計画《位置図》



事業分類	延長(m)	金額(千円)
老朽管更新	18,427	1,887,124
基幹管路耐震化	624	136,726
重要給水施設管路耐震化	3,976	644,559
管路関係計	23,027	2,668,409
取水量維持	和合ヶ丘水源	2,200
機械・計装設備更新	計装監視設備	138,138
	遠方監視設備	99,327
管路以外計		239,665
合 計		2,908,074

- 配水場
- 浄水場
- 受水点
- 自己水源
- 県水路線
- 主要管路のうち耐震適合管
- 主要管路のうち非耐震適合管(令和13年度以降に整備していく管路)
- 令和3年度整備予定箇所
- ..... 計画路線

注) 計画路線のうち、R4年度以降に着手予定の路線については、地図上から省略してあります。